

〈総会報告〉

平成27年度EICA総会・講演会報告

平成27年度EICA総会と論文賞表彰式、講演会を開催しましたのでその概要を報告します。

開催日：平成27年5月11日(月)
 会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」
 6階大会議室
 総会：
 第1号議案 平成26年度事業報告
 第2号議案 平成26年度決算及び監査報告
 第3号議案 平成27年度事業計画案
 第4号議案 平成27年度予算案
 第5号議案 平成27年度役員案
 選考委員会報告：(功績賞、平成26年度論文賞の選考について)
 表彰式(平成26年度論文賞)

1. 開会の辞と会長挨拶

総会に先立ち、司会の内藤聡氏(総務副委員長, ㈱タクマ)から開会の辞があり、続いて会長の清水芳久氏(京都大学大学院工学研究科)から挨拶がありました。



会長挨拶(清水芳久氏 京都大学大学院工学研究科)

2. 議長、議事録署名人の選出

議事の審議に入るに当たり、小浜一好氏(副会長, 横浜ウォーター㈱)を議長に選出し、総会議案に従い審議が進められました。

冒頭、議長より出席会員40名、委任状提出会員86



小浜一好議長(横浜ウォーター㈱)

名、合計126名で、会員総数284名の5分の1である57名を超過し、会則第13条により、本総会が有効に成立されたことが報告されました。

また会則14条により議事録署名者として議長の小浜氏の他、片山学氏(幹事長, 月島機械㈱)と新井喜明氏(副幹事長, ㈱明電舎)が選任されました。

3. 議案審議

(1) 第1号議案 平成26年度事業報告

議長の指名により、各委員会委員長から平成26年度の事業報告がありました。

総務委員長：三島浩二氏(水ing㈱)

企画委員長：山田顕寛氏(日立製作所㈱)

編集委員長：橋本征二氏(立命館大学理工学部)

各委員長の事業報告後に、議長より第1号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(2) 第2号議案 平成26年度決算及び監査報告

議長の指名により、倉田学児氏(事務局長, 京都大学大学院工学研究科)から平成26年度決算報告書に基づき、収支決算報告が行われました。

続いて、会計監査の結果について、佐藤大毅氏(監事, 三菱電機㈱)、藤原健史氏(監事, 岡山大学大学院環境生命科学研究科)の両名より、決算報告が妥当かつ正確であった旨を報告されました。

その後、議長より第2号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(3) 第3号議案 平成27年度事業計画案

議長の指名により、各委員会委員長から平成27年度の活動計画案について説明されました。

総務委員長：三島浩二氏(水ing㈱)

企画委員長：山田顕寛氏(日立製作所㈱)

編集委員長：橋本征二氏(立命館大学理工学部)

その後に、議長より第3号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。



議案を説明する各委員会委員長
(左より、橋本編集委員長、三島総務委員長、山田企画委員長、倉田事務局長)

(4) 第 4 号議案 平成 27 年度予算案

議長の指名により、倉田学児氏（事務局長，京都大学大学院工学研究科）から平成 27 年度予算案について説明されました。

その後に、議長より第 4 号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(5) 第 5 号議案 平成 27 年度役員案

議長の指名により、倉田学児氏（事務局長，京都大学大学院工学研究科）から評議員等の役員の選任案について説明されました。

その後に、議長より第 5 号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

その後、総会は一時中断となり、平成 27 年度第 1 回評議委員会が開催され、役員案が承認されました。

4. 選考委員会報告と表彰式



選考結果を報告する片山選考委員長

議長の指名により、片山学氏（選考委員長（幹事長），月島機械(株)より功績賞と平成 26 年度論文賞の選考結果について報告があった。

功績賞：該当なし

論文賞（3 編）

- ①「バイオフィilm 形成に対する Quorum Sensing の RO 膜抵抗への影響評価およびそのシグナル物質と細菌の同定」

石塚美和

(株)東芝 電力・社会システム技術開発センター
環境・水システム開発部)

諸星知広，池田 宰

(宇都宮大学大学院工学研究科
物質環境科学専攻)

- ②「送風量制御による下水処理における一酸化二窒素の排出削減方法」

草野 吏 (メタウォーター(株) 事業戦略本部
技術戦略部)

小沼 晋，齋藤利晃 (日本大学理工学部)

鈴木重浩 (メタウォーター(株) 事業戦略本部
R&D センター)

濱本亜希，小林政行

(東京都下水道局計画調整部技術開発課)

- ③「中国での家庭部門のエネルギー消費量と燃料使用に伴う室内 PM2.5 曝露量推計」

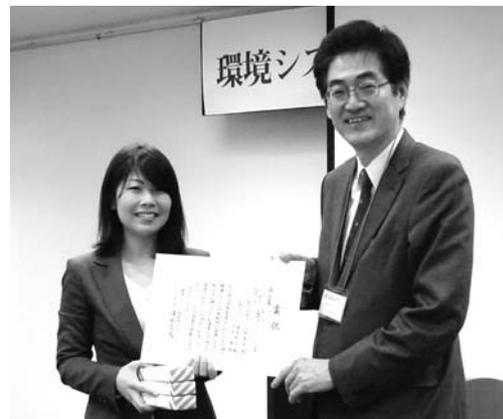
郭 敏娜，倉田学児，松岡 讓

(京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻)

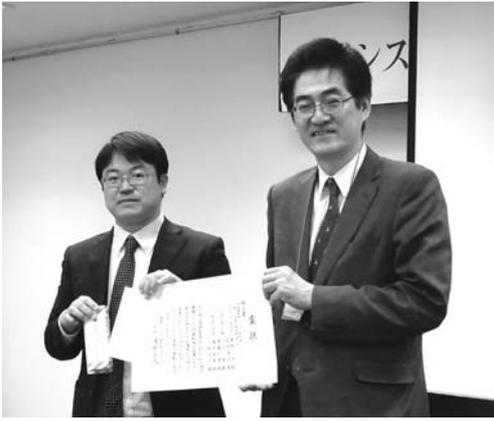
最後にすべての審議事項について満場異議なく、原案通りに承認され、議長から平成 27 年総会が終了したことが宣言されました。

引き続き、会長より、論文賞受賞代表者には、賞状、副賞、記念品が贈られました。

【論文賞 受賞者表彰】



石塚美和氏 (株)東芝)



草野 吏氏 (メタウォーター(株))



倉田学児氏 (京都大学大学院工学研究科)

【講演会報告】



竹ヶ原啓介氏 (㈱日本政策投資銀行)

最初のご講演は、「ドイツ再エネ政策の変遷」と題して、(株)日本政策投資銀行環境・CSR 部長の竹ヶ原啓介氏にご講演いただきました。

ご講演は、再生可能エネルギーの普及にいち早く取り組んだドイツの国策のうち、全量固定買取制度 (FIT 制度) の動向を、金融という立場から観察してこられた竹ヶ原氏が、そのご経験等から、ドイツの FIT 制度の変遷と、我が国への示唆として課題に触れていただきました。



佐藤裕弥氏 (㈱浜銀総合研究所)

次のご講演は、「水道の規制政策の見直しと水道広域化による経営再編成」と題して、(株)浜銀総合研究所 シニアフェローで早稲田大学商学大学院非常勤講師の佐藤裕弥氏にご講演いただきました。

ご講演は、現在の水道料金制度の再構築と施設更新財源の確保や、水道事業への民間企業の参入の規制緩和や参入条件の整備、民間事業者の経営評価や監視機能の強化など5つのご提言をいただき、最後に高齢化と少子化という先例のない社会環境で、これまでの水道事業の歴史と新しい事業の担い手でもある民間事業者の知見を融合させ、我が国独自の持続可能志向モデル」を構築し、これからの世代に誇れる資産として受け継がれることを期待し、ご講演をおえられました。